

科目名	デザインプロセス論 [インテリア] (卒業必修)			
授業形態	講義	学年	1	
開講時期	2022年度 前期	単位数	2	
担当教員	柴崎 恭秀			
内容および計画	インテリア・建築デザインでは、クライアントや経済活動といった社会的要件や敷地や街並み等の環境に配慮しながら、平面や立面、断面等の空間形態の構成、また家具や色彩・材料の構成、設備・環境の構成、さらには予算等といった様々な計画要素を試行錯誤しながらイメージを構築していくプロセスがあり、それぞれの段階で様々なデザインプロセスを行っていくことになる。ここでは建築やインテリアのデザインプロセスを対となる演習授業(デザインプロセス論演習)と連動して、ひとつのデザインプロセスを家具のデザイン等を通して学んでいく。本講義では演習のための基礎となる空間の構成や材料、人体や行動との関わり等について学び、さらには如何に表現していくかということについても考察する。			
1	インテリア・建築デザインとは			
2	デザインプロセス概要(家具を例に)			
3	テクスチャ(素材)とその特性について			
4	生活と空間/動線と配置-「街並みの美学」地と図を通して-			
5	生活行為と人間工学			
6	デザインの調査・分析(家具を事例とした調査と分析)			
7	発想からかたちへ-デザイン思考を例にプロセスを学ぶ-			
8	表現の技法(1)-作図表現・模型表現-			
9	デザインの評価・判定			
10	かたちと構造			
11	空間の質-心理と空間の構成-			
12	表現の技法(2)-様々な図面表現・立体表現-			
13	デザインの構成手法			
14	表現の技法(3)-デザインの意図を伝える-			
15	総論・講評			
教科書				
	タイトル	著者名	出版社	発行年
適宜資料を配布。				
参考書	1) 宮脇檀住宅設計塾 『眼を養い手を練れ』 彰国社 2) 井上昇 『椅子-The Book of Chair-人間工学・製図・意匠登録まで』 建築資料研究社 3) グループモノ・モノ 『杉でつくる家具』 グラフィック社			
成績評価				
	評価方法			割合(%)
	提出課題、レポート等			60
	受講状況			20
	出席状況			20

学習到達目標	インテリア・建築デザインの思考プロセス及びデザイン行為の考え方・進め方を実際のデザインプロセスを通して同演習とともに学び身につける。
先修条件	なし
実務経験	実務経験あり:大手設計事務所にて勤務後、設計事務所を設立。キャンパス計画や集合住宅、住宅等のインテリア・建築デザインに15年以上従事してきた。一級建築士として25年以上の経験を有す。この経験をもとに、インテリアデザイン、建築デザインの基礎、応用について教授する。
その他	必須・選択の別:必修